



ふるさとウオッチング



7/2

県の名勝天然記念物

「雲見滝」 滝開き



三刀屋町多和にある雲見滝で、本格的なレジャーシーズンを前に、行楽客の安全を祈願する滝開き神事がありました。今年も滝神社改築による遷宮も兼ねてあり、ご神体が近くの飯石神社から滝神社へと移された後、関係者らが見守る中、佐藤美彦宮司による神事が執り行われました。またこの日、地元の上口2自治会の住民らが、遊歩道や駐車場、周辺道路などの清掃・草刈りを行ったこともあり、夏の観光スポットはきれいに整備されました。



6/17・18

海潮で田舎暮らし体験ツアー



参加者は、遠くは京都府や大阪府などから総勢14名。カズラを使ったつるかご作りやホタル・神楽の観賞、そば打ちなどを体験しました。中でも今回のツアーの目玉であるホタル観賞では、辺り一面を乱舞するホタルの幻想的な風景に、参加者たちは田舎を満喫していました。

主催したのは海潮地区振興会（宮川昇会長）で、都市住民を対象に海潮の名所や伝統文化など交流を通じて定住促進につなげようと昨年に引き続き実施されたものです。

6/23

美しい立ち振る舞い 茶の湯の目



吉田保育所で月1回開かれる「茶の湯の目」では、惺々会（黒角好子代表ほか5名）のメンバーらが、子どもたちにお茶や作法のお稽古をします。

この会は平成16年から始まり、今年で3年目。6畳分の畳を敷いた「お茶室」への入退室の仕方、立ち方、座り方、言葉遣いの練習や、今回は実際に懐紙を使って、お菓子の取り方、お茶の立て方、お茶をいただく、という一連の動作を全て行いました。ご相伴致します。」とお加減いかがですか？」など普段とは違う雰囲気の中かわいらしい声が響いていました。



国際交流員のヒメネズさんも参加しました

作法の時間は正座をし、慣れない言葉遣いや動作に緊張し、集中していたためか、作法の時間が終わると緊張の糸がとけ「は〜」と大きな声をだしていました。

黒角さんは「毎回楽しみにしています。飲み込みが早く驚いています。子どもたちからパワーをもらっています」と話されていました。

7/11

職人の技を学ぶ ものづくり体験教室



職人から技術を学ぶ「ものづくり体験教室」が掛合中学校で開かれました。

この教室は、生徒たちと技能者との交流や、ものづくりへの関心を深めてもらうことを目的に、島根県が島根県技能士会から各種技能者を派遣して、実施しています。



生徒たちは、日本料理、石材加工、畳製作、寝具製作の各教室に分かれ、職人たちの優れた技に触れました。

生徒のほとんどがはじめての体験ということもあり、各教室では「貴重な体験で楽しかった」、「ぜひまた挑戦してみたい」などの声が聞かれました。

7/9

日登本郷丘陵墳墓群遺跡見学会



このほど木次町の寺領本郷周辺と東日登地域を一望できる丘陵から古代の日登地域を治めたりターの墓と見られる墳墓が多数発見されました。

この墳墓は四つの尾根で築かれており、最大のもは直径が12m、墳丘の高さは2mで、およそ13から15基の墳墓が確認されています。また、墓が築かれた時期は弥生時代後期から古墳時代の初め（およそ1900年前〜1700年前）と見られ、これだけの墳墓がまとまって現存するのは雲南市では唯一のもの。

教育委員会では、遺跡名を「日登本郷丘陵墳墓群」と名づけ、日登公民館との共催で遺跡見学会を開催しました。

当日は、小学生を含め地区内外から約50名の住民が参加。会場では市内で発見された原形、古代の遺跡紹介の後、現地にあって実際に墳墓が並んでいる様子や丘陵からの眺めを堪能して古代のひのぼりムラに思いを馳せていただきました。



6/11

加茂方面隊 消防操法大会

加茂文化ホール「ラメール」駐車場を会場に、雲南市消防団加茂方面隊消防操法大会が開催されました。

この日は、ポンプ車の部に1チーム、小型ポンプの部に10チーム出場し、日頃の訓練の成果を発揮すべく、熱こもった操法が展開されました。

結果は次のとおりです。

小型ポンプの部	優勝	加茂中分団第1部	184点
	準優勝	加茂中分団第2部	181点
	第3位	加茂北分団第2部	178点



優勝した加茂中分団第1部のみなさん